



19 鞍建土第31号  
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 殿

鞍手町長 柴田 好



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり回答します。

## 別紙

### Q. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

#### A.

- ・ 高速道路（インターチェンジ）を活用するため、地域性を踏まえたアクセス道路（バイパスを含む）の整備・強化。
- ・ 歩行者の安全・安心確保のため、歩道のバリアフリー化、広幅員の自歩道整備。
- ・ 地域活性化のため、都市圏域と地方（町村）を結ぶ広域幹線道路網の構築（ネットワーク）。

### Q. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

#### A.

- ・ 事業効果の十分な検討
- ・ 計画段階からの住民参画の推進
- ・ 事業コスト削減のため、工法の検討および工夫
- ・ 道路の管理コスト削減のため、地域住民との協働を推進

### Q. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

#### A.

・ 道路政策として広域道路網の整備推進は、都市部と地方が相乗的に発展するものと期待できるが、幹線道路に接続する町村の道路は、幅員が狭い・歩道が未整備・狭小などの課題があり、現行の道路交付金事業ではメニューが限られているため、道路管理を含めた幅広く活用できる支援策を望む。

・ 幹線道路網の整備は、通過交通量および流入人口の増大が図れ、地域活性化につながるものと期待できるが、住環境保全の観点から、幹線道路と生活道路の色分けが必要と考えられ、その施策を望む。

・ 道路の維持・管理について、既存ストックの長寿命化（橋梁の長寿命化修繕計画など）の支援策が推進されている。その趣旨・必要性は十分に理解できるが、非常に厳しい財政状況の下、国が示している期間での整備は厳しいと考える。体力のない町村に対する新たな支援策を望む。

・ 非常に厳しい町財政状況の下、基幹道路の整備（当町では主に県道）に対する事業費負担の低減、町道の維持・管理費に対する交付税措置、補助事業における補助率の増などの支援を願う。